

固定資産管理の不備

対象受検機関	検出事項					是正を求める事項	措置の内容
株式会社大阪鶴見フラワーセンター	固定資産台帳に登録されている下記について、実査したところ、現物を確認することができなかった。					<p>検出事項について、資産管理責任者は、現物が確認できない原因を特定し、速やかに是正措置を講じるとともに、固定資産台帳と現物の照合を実施し、他に是正すべきものがある場合は、速やかに是正されたい。</p> <p>また、財務会計事務のルール等について周知徹底を図り、法令等に基づき適正な事務処理を行われたい。</p> <p>【株式会社大阪鶴見フラワーセンター経理規程】 第38条（固定資産の实地照合） 資産管理責任者は、毎会計年度1回以上所管の固定資産を台帳と实地照合しなければならない。</p>	<p>左記4件の資産については、すでに除却されていたため、令和4年1月31日、固定資産台帳からも除却の処理を行った。</p> <p>台帳に記載のあるすべての資産について再度現物と实地照合を行い、必要な是正を行った。</p> <p>また、株式会社大阪鶴見フラワーセンターは「株式会社大阪鶴見フラワーセンター経理規程」を定めており、令和3年12月8日に担当者会議を実施し、当該規程の周知を行った。</p> <p>固定資産と台帳との实地照合については、今後、チェックシートの使用や複数人での確認を徹底するなど当該規程に基づいた適正な事務処理を行う。</p>
	勘定科目	資産名	数量	取得価額	期末帳簿価額		
	工具器具備品	映像音声ソフト	1	11,290,271円	1円		
	工具器具備品	ビデオソフト	1	2,223,500円	1円		
	工具器具備品	映像装置VP設置架台	1	178,850円	1円		
	工具器具備品	映像装置壁接続パネル	1	119,100円	1円		

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和3年12月7日及び同月8日）